

Honda FIT 発売20周年企画

父とともに、子が運転するクルマで思い出の地を巡る 「タイムスリップドライブ」動画公開

スペシャル ムービー

父・阿部祐二（リポーター）と、娘・阿部桃子（モデル/タレント）が
思い出を振り返りながら巡るドライブドキュメンタリー
思い出をのせて走ろう。タイムスリップドライブ/Honda FIT 20周年 WEBムービー
【6月18日（金）から特設サイトほかで公開】

「父の日」 調査

父子のドライブに関する調査では親子の70%以上が
「ドライブに行って語り合いたい」という結果が明らかに

特設サイト

<https://www.honda.co.jp/Fit/special/timeslipdrive>



Hondaは、「思い出を乗せて走ろう」をテーマに、FITの発売20周年企画「タイムスリップドライブ」を、6月18日（金）から特設サイトおよび公式YouTubeなどで公開します。2001年に発売したFITは、快適で広い室内空間や優れた走行性能を継承しつつ、時代に合わせて搭載技術を進化させてきました。2020年2月に発売した4代目のFITまで多くのお客様にご支持をいただき、今年で発売20周年を迎えます。

この20年間、FITを愛してくださった皆さまが、どのようなドライブを楽しんでいたのか、またFITと共に訪れた地にどんな思い出があるのかを企画コンセプトに、「父の日」直前の6月18日（金）から父と子の思い出の地をFITで巡る、「思い出をのせて走ろう。タイムスリップドライブ/Honda FIT 20周年 WEBムービー」を公開します。今回は父子代表として、リポーターの阿部祐二さんと、モデル・タレントとして活躍する娘・桃子さんが、お二人が思い出の地を巡り、お互いへの想いを語ります。

また「いまの気分は？」「マイルールは？」といった、親子の絆を深めるためのトークテーマなど、ドライブをより楽しむためのヒントも特設サイトで公開します。さらに、Hondaが行った父と子の調査では、実は父親の85%以上が「子どもからドライブに誘われると嬉しい」、父子ともに70%以上が「ドライブ中に話したいことがある」、60%以上の父子が「横並びに座って旅をするドライブであれば、本音で話しやすいと思う」という結果も明らかになりました。

スペシャルムービー“タイムスリップドライブ”

名物リポーターとしてもおなじみの阿部祐二さんと、2017ミス・ユニバースジャパン グランプリに輝きモデル・タレントとして活躍する娘の桃子さん。いつもは父・祐二さんの運転で出掛ける桃子さんですが、今日は祐二さんが桃子さんの運転する助手席に乗り込み、あの頃の思い出の地を巡りながら、お互いの想いを語り合う「タイムスリップドライブ」に出掛けます。

■コンセプトムービー概要

タイトル 「思い出をのせて走ろう。タイムスリップドライブ／Honda FIT 20周年 WEBムービー」

出演 阿部祐二、阿部桃子

公開日 2021年6月18日（金）

公開URL <https://youtu.be/4lfy4FrMazQ>



■撮影エピソード

ドライブ開始5分で…すでに涙腺ゆるゆるの祐二さん

終始リラックスした様子だった桃子さんに対して、ドライブ開始からおよそ5分で、昔を思い出して涙腺が危うくなってしまう祐二さん。その後はあまり機会のない桃子さんとの二人きりのロングドライブに照れながらも楽しんでいましたが、ところどころで桃子さんから「パパ大丈夫？泣きそう？」と心配され…ついに最後はこらえきれなくなってしまう様子。お二人のお互いを想う気持ちが撮影班にも伝わり、とても素敵なドライブ映像になりました。

桃子さんが打ち明けた“秘密”に「聞いてないよ！」

「タイムスリップドライブ」のヒントのひとつ「20の質問」には、親子の絆を深めるためのトークテーマが用意されています。「お互いに秘密にしていることは？」に、桃子さんは「一人暮らしをしようと家を探してる」と答えると、「聞いてないよ！」「どうやって探してるの？」「同じマンションにすれば？」と少々焦りの質問攻めに。桃子さんの成長を感じながらも、まだまだ心配な父・祐二さんでした。

■インタビュー

----父と子のドライブを終えた感想をお聞かせください。

桃子「FITを運転した感覚は、すごくスムーズでエンジン音も静かで、滑るような感覚で運転できたという印象です」

祐二「（質問は）オレとのドライブの印象だよ（笑）」

桃子「あれ？運転じゃなくてドライブの印象？ 普段話せないこととかも、ふたりの時間があったことによって、いろいろ正直に話せたのはよかったと思います」

祐二「なかなか、ふたりきりというのはないんで。いつもは“大御所”がいるから。“ママ”っていう（笑）。ふたりきりの時間を楽しむことができて、最高の父の日のプレゼントでした」

----また、ふたりでドライブに行きたいと思いますか？

祐二「そうですね、できることなら。ふたりは（性格が）合うので、会話がなくてもお互いのかゆいところに手が届くというか…結構気を使わないんです。今日の撮影中もカメラを意識せずに過ごしていました」

「タイムスリップドライブ」の楽しみ方

まだ幼かった頃にお父さんと出掛けた思い出を振り返り、タイムスリップした気分ドライブを楽しんでみたいと思ったことはありませんか？一緒にドライブするだけでなく、「父の日」に、父子でのドライブをさらに楽しくするための“ヒント”を考案しました。

①お互いに“20の質問”に答えてみよう

近くにいる父と子だからこそ知らなかった意外な一面や、なかなか伝えることができないこともあると思います。そこで、カードに書かれた質問に答えるだけで親子の絆が深まり、感謝の気持ちを伝えられる「20の質問リスト」を作りました。質問された内容に、父と子が正直に答えていくだけの簡単なルール。助手席に座っているお父さんに質問を読んでもらいながら、お互いに順番に回答してみましょう。思い浮かばないときは気楽にパスしてもいいけれど、嘘をつくのだけはNG。ちょっと照れくさいかもしれませんが、新たな発見があるかもしれません。

②“思い出のアイテム”をクルマに詰め込んでみて

父と子で一緒にしていたことで、思い出に残っているエピソードはありますか？クルマの荷室に、当時の記憶がよみがえる“思い出のアイテム”を詰め込んでみましょう。例えば一緒に楽しんだ釣りの道具や野球のグローブとボール、潮干狩りで使ったバケツや熊手などなど…なんでもOKです。あの当時の気持ちを思い出して、お父さんともう一度、その体験を味わってみてはいかがでしょうか。きっと思い出話で盛り上がるはずです。

③ドライブのBGMは、あの頃に聴いた思い出の曲で。

“タイムスリップドライブ”の道中は、あの頃よく聴いていた思い出の曲を詰め込んだプレイリストがおすすめです。お父さんが好きだった曲や、自分が「これかけて！」とおねだりした曲を見つけてプレイリスト化してみましょう。懐かしい音楽と一緒に、あの時の気分にひたれば、ドライブがさらに盛り上がること請け合いです。

④新しい思い出をつくりに行こう！

思い出の場所で思い切り楽しんだ後は、新しい思い出をつくりに行ってみましょう。帰り道の途中にあるレストランや体験施設、観光スポットはもちろん、思い切って遠出してみるのもアリかもしれません。2人の疲れ具合と相談しながら、ぜひ気ままに寄り道してみてください。

“タイムスリップドライブ”のいろいろな楽しみ方

ちょっと気になる、他の父と子のタイムスリップドライブをのぞかせていただきます。20の質問や、思い出を詰め込んだ荷室など、特設サイトでは2組の親子のタイムスリップドライブ体験レポートを掲載しています。



<https://www.honda.co.jp/Fit/special/timeslipdrive>

父子のドライブに関する独自調査

父と子でドライブについて調査を行いました。その結果「ドライブに誘われると嬉しい」と感じる父親が多いこと、父子ともに「気恥ずかしさはあるものの、実はいろいろ話したいと思っている」ということが分かりました。

普段、一緒にドライブする機会は少なくても、父親は子どもとのドライブに興味を持っており、また「子どもからドライブに誘われると成長を感じる」という父親も約80%に上ります。

2人きりになれるクルマの中は、父と子が本音で語り合うチャンス。ほんの少し勇気を持って「タイムスリップドライブ」に誘えば、きっとこれまで以上に心の距離が縮まるはずです。

【調査概要】

- 調査期間：2021年5月14日（金）～5月17日（月） ●調査方法：インターネット調査
- 調査対象：18歳～39歳の男女および、50歳～69歳の男性合計400人
（自動車免許を保有し月に1回以上自分で運転している方を対象）

調査結果から導き出された、ドライブにまつわる父と子の「意外な本音」

■あまりドライブに行っていない父も、実は子どもとのドライブへの意欲・興味は高い

父と子で普段からドライブに出掛ける人は約3人に1人（34.0%）【図-1】ですが、実は父親の85%が「子どもからドライブに誘われると嬉しい」【図-2】とっており、ドライブに誘われると子どもの成長を感じるという父親も77.5%【図-3】と多くを占めています。

図-1

Q あなたは父子でドライブに行くことがありますか。

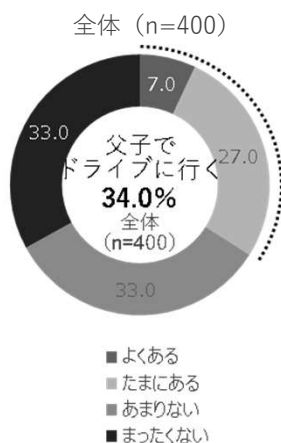


図-2

Q お子様からドライブに誘われたらどのように思いますか。

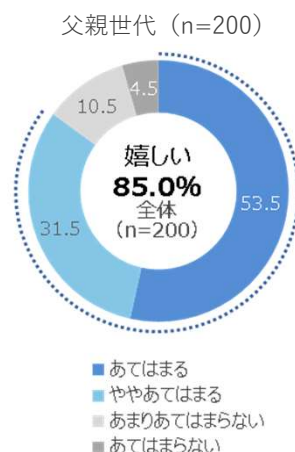
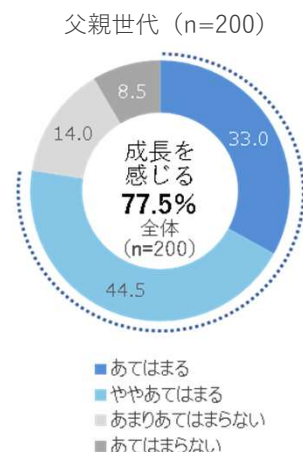


図-3

Q お子様からドライブに誘われたらどのように思いますか。



■父と子の語り合いで気恥ずかしいと思っているのは子どもの方？

父と子で語り合うことに対し、気恥ずかしさを感じると答えた父親世代は48.0%【図-4】、それに対し子ども世代は65.5%【図-4】が気恥ずかしさを感じると回答しています。

しかし、父子共に70%以上（父親世代75.0%／子ども世代71.0%）【図-5】が「ドライブ中に話したいことがある」と答えていることが興味深く感じられます。

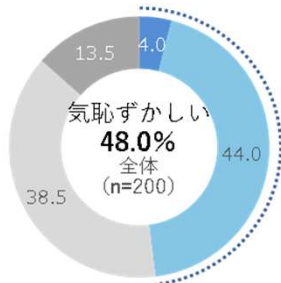
父子のドライブに関する独自調査

図-4

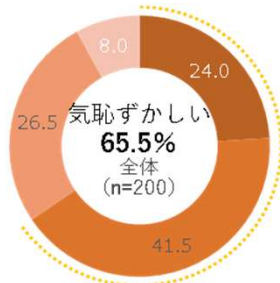
Q 普段父子で本音で語り合うことに気恥ずかしさを感じますか。

父親世代 (n=200)

子ども世代 (n=200)



■ とても感じる
■ やや感じる
■ あまり感じない
■ まったく感じない



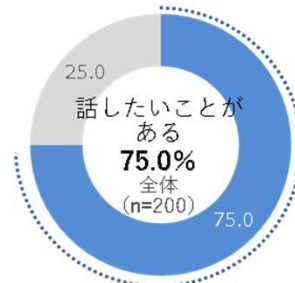
■ とても感じる
■ やや感じる
■ あまり感じない
■ まったく感じない

図-5

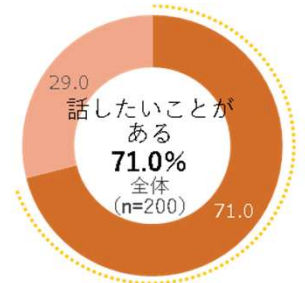
Q ドライブ中に話したいことはありますか。

父親世代 (n=200)

子ども世代 (n=200)



■ 話したいことがある
■ 話したいことは特にない



■ 話したいことがある
■ 話したいことは特にない

■ ドライブは本音で語るチャンス!?

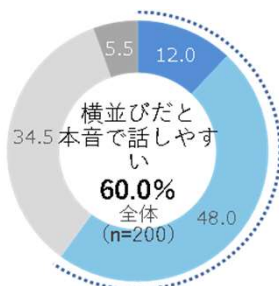
運転席と助手席のような横並びに座って旅をするドライブであれば、本音で話しやすいと思うか? という問いに「あてはまる」と答えた父親世代は60.0%【図-6】、子ども世代は60.5%【図-6】で、実は父子共に距離が近い車内であれば、自然と心を開いて語り合えると感じているようです。

図-6

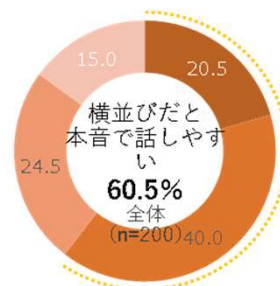
Q 運転席と助手席という横並びの座りだと、対面よりも本音で話しやすいと思いますか

父親世代 (n=200)

子ども世代 (n=200)



■ あてはまる
■ ややあてはまる
■ あまりあてはまらない
■ あてはまらない



■ あてはまる
■ ややあてはまる
■ あまりあてはまらない
■ あてはまらない

今後、親子でドライブするときに行きたい場所や話したいことを聞くと以下のような回答があり、父子共に思い出話や将来の話、仕事の話をしたということが分かりました。

<父親世代がドライブ中に話したいと思っていること>

- 「どこという当てもなく、たわいもなく家族の話をしたい」 (69歳)
- 「思い出の海へ出掛け、昔の話をしたい」 (50歳)
- 「(行き先は) どこでもいいから、昔の話や将来の話をしたい」 (65歳)
- 「近くてもいいから温泉へ行き、孫や家族との思い出を話したい」 (64歳)

<子ども世代がドライブ中に話したいと思っていること>

- 「本当はどんな大人に成長してほしかったのか聞いてみたい」 (37歳女性)
- 「仕事場に通勤ドライブ。父が経営者なので仕事の話を聞きたい」 (23歳女性)
- 「小さい頃連れて行ってもらった海へ行き、将来のことを話したい」 (32歳男性)
- 「観光地までの道で家族のこと、父が若かった頃の話を知りたい」 (32歳男性)
- 「思い出の場所へ行き、感謝の気持ちを伝えたい」 (27歳女性)

FITについて

2001年に初代モデルが登場したFITは、コンパクトなボディーながら広く快適な居住空間や、利便性のよいインテリアデザイン、優れた環境性能によって多くの皆さんに愛されました。

2007年には2代目モデルが後を継ぎ、2013年には3代目モデルを発売するなど、進化しながらもそのコンセプトは脈々と受け継がれ、2020年には4代目となる現行モデルが登場。ホンダを代表する一台であるとともに、世界で活躍するグローバルモデルとして成長しました。

FIT公式サイト <https://www.honda.co.jp/Fit/>

FIT e:HEV

ボディーカラー：プレミアムサンライトホワイト・パール



FIT 20年の歴史

2001年



2001年
初代FIT発売

広い室内空間や多彩なシートアレンジ、23km/Lの低燃費と爽快な走りなど、新しい価値を創造したモデルとして登場。「2001-2002日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。

2007年

2007年
2代目FIT発売

FIT国内販売累計100万台突破
(2007年)

HondaのMM思想を受継ぎ、さらなる空間の広さを実現するとともに、シートアレンジの追加などで使い勝手も向上。走行性能においては、快適な走りと24km/Lの低燃費を両立。

2代目FITが「2007-2008日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞



2013年



2013年
3代目FIT発売

FIT国内販売累計200万台突破
(2013年)

FITの設計思想を継承しながらも、パワートレインと車体を完全新設計。居住性・燃費性能などすべてを格段に進化させ、全域においてレスポンスの良い走りを実現。

安全運転支援システム(Honda SENSING)搭載 (2017年)

2020年

2020年
4代目FIT発売

「心地よさ」を新たな提供価値に掲げて開発。心地よい視界や快適な室内空間と合わせて、2モーターハイブリッドシステム「e:HEV」により低燃費で滑らかな走りを実現。「Honda CONNECT」の搭載で、より安心・快適なカーライフを目指したコネクテッドサービスを提供。



【ご参考】FIT20周年記念展示@Hondaウエルカムプラザ青山

FIT20周年を記念した企画展「FIT HAPPY 20 YEARS」を6月21日（月）～7月19日（月）の期間、Honda青山ビル1階のパブリックスペース「Hondaウエルカムプラザ青山」にて開催します。
特設サイト：<https://www.honda.co.jp/welcome-plaza/contents/event/2021/20210621/>

「FIT HAPPY 20 YEARS」は、「アルバムを一緒につくる場」をテーマに、20周年記念ムービー※の世界観をウエルカムプラザ内に展開します。初代～4代目のFIT実車展示だけでなく、FITユーザーの投稿画像や開発秘話などが掲載された特大FITアルバムを展示します。

また、ご来館いただいた方が、これからFITと一緒に作りたい思い出など、メッセージを自由に書き込むことが出来るミニアルバムをご用意。SNSで投稿いただいた内容も、ミニアルバムに代筆で記載します。お客様からのメッセージが込められたミニアルバムは、Webサイトでも公開を予定しています。

※ 20周年記念ムービーは、Honda公式YouTubeチャンネルよりご覧いただけます。
公開は2021年6月21日（月）10:00を予定しています。



【「FIT HAPPY 20 YEARS」開催概要】

- 開催期間 : 2021年6月21日（月）～7月19日（月）
- 開催時間 : 10:00～18:00 ※営業時間は状況により変更となる可能性があります。
- 会 場 : Honda ウェルカムプラザ青山（東京都港区南青山2-1-1 Honda青山ビル1階）
- アクセス : 東京メトロ銀座線・半蔵門線、都営大江戸線「青山一丁目」駅5番出口すぐ
- 入場料 : 無料

※人数制限の関係でお待ちいただく可能性がございます。あらかじめご了承ください。

■Hondaウエルカムプラザ青山

Honda青山ビル1階のパブリックスペース「Hondaウエルカムプラザ青山」は、オープン当初からのコンセプトである「誰でも気軽に立ち寄れる憩いの場」をさらに進化させ、2020年1月18日にリニューアルオープンいたしました。開放的でウッドとグリーンに囲まれた内装、安らぎの空間と味にこだわったカフェ“MILES Honda Cafe”も併設。そのほか、青山エリアでは希少な本格的な授乳室を設置しております。

